

会 議 名	平成23年度第2回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成23年8月24日(水)午前10時から12時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	(出席者) 崎田座長、内藤裕子委員、北村委員、木原委員、 桜林委員、榊中委員、藤野委員、小林委員、武田委員、高木委員 (欠席者) 鈴木委員、内藤俊之委員、島村委員、亀田委員、 臼井委員、今福委員
事 務 局	北川、山崎
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 第1回段ボールコンポスト講習会の報告 2. 第2回段ボールコンポスト報告会、意見交換会について 3. 区役所ロビーパネル展示会の実施について 4. 大学生によるリユース食器導入計画作戦会議の動きについて 5. みなと区民まつりブース出展について 6. 事業者向けセミナーについて その他
配 付 資 料	[ 事前配付 ] なし [ 席上配付 ] 1. 段ボール de コンポストみんなで生ごみ減量大作戦！ 第1回講習会 開催報告 2. 段ボール de コンポストみんなで生ごみ減量大作戦！ 第2回報告会 企画案 3. 「みんなと食の3R」 出展要項 4. 『大学生が考える！みなと区民まつりにリユース食器導入計 画作戦会議』本年度の動き 5. みなと区民まつりでの「リユース食器」利用団体の募集につい て 6. 2011みなと区民まつり 出展内容(案) 7. 事業者(ホテル業)・区民向けセミナー 企画案(第1回) 8. 事業者向けセミナー 企画案(第2回) ・ 「みんなと食の3R」チラシ案

## 主な発言・報告内容

### 1 第1回段ボールコンポスト講習会の報告

#### 事務局からの報告

平成21、22年度に開催した段ボールコンポスト講座の受講生をアドバイザーに迎え、開催地域を広げて2会場で、ごみ減量の定量化（見える化）を目的に、実施した。段ボールコンポストの仲間を増やし、実演を交えて実物に触れてもらうことで、生ごみ減量をより身近に、分かりやすく伝える機会とした。

#### 主な発言

- ・ 今年が3年目で、昨年度までの受講者がアドバイザーとして参加してくれたことにより、参加者は楽しそうにグループワークに取り組めた。広がりを感じられてよかった。
- ・ Twitterを開始したことで参加者の報告を紹介できるようになったことがよい。
- ・ 段ボールコンポストの基材を用意してもらえて、よい機会だった。
- ・ 楽しい講習会だった。参加者は興味を持っていた。熱心に聞いていた。自分の住む集合住宅から3名参加した。今後さらに広めたい。

### 2 第2回段ボールコンポスト报告会、意見交換会について

#### 事務局からの報告

7月26・27日に段ボールコンポスト第1回講習会を開催した。約2ヵ月間の家庭での取り組み記録をもとに、生ごみ減量の数値や継続するためのポイントなどを紹介、より身近で取り組みやすいごみ減量方法を伝える機会とする。

#### 主な発言

- ・ 成功した人しか来ないセミナーではなく、途中で取り組むのをやめた失敗してしまった人が悩みを共有することにより、再度取り組むきっかけになる機会としたい。継続したからよいわけではなく、やめた人でも参加してほしい。
- ・ 継続できた人が参加するのは喜びを共有するためにはよいが、Q & A サロンのし、困った部分を質問できるようにするとよい。
- ・ 経験者が多様な回答を持っているので参考にしたい。
- ・ 今後の継続を目指すためには、成功した人だけでなく、続けられなかった人へのフォローを行うとよい。

### 3 区役所ロビーパネル展示会の実施について

#### 事務局からの説明

平成23年度の「みんなと食の3R」の取り組みを紹介する展示会を港区役所1階ロビーにて開催する。この機会を活用し、港区内で「食の3R」に取り組む諸団体にも協力を

頂き、「みんなと食の3R」を推進する。

#### 主な発言

- ・ 「食の3R」なので、生ごみの発生抑制を紹介し、企業の取り組む食品リサイクルも紹介することになるだろうが、どのようなポイントを強調したいのか。大規模事業者は食品リサイクルを行っているので、特徴的なことを特出しするとよい。
- ・ 昨年度に実施したワークショップを参考に、来場者参加型コーナーを活用してほしい。生活に身近な部分からも「食の3R」は期待されていることを示してほしい。
- ・ 区役所は展示物を設置しておくだけなので、不特定多数の人に来場してもらうための声をかけづらい。3R推進行動会議のイベント映像などを流しておくことはできないか。動くものがあれば人は集まりやすい。
- ・ 不特定多数の来庁者に見てもらいきっかけづくりは難しい。うまく工夫し、見学者に納得感が得られるようにするとよい。
- ・ 出展事業所から、展示の見学者へのお土産があればよい。
- ・ レイアウトを工夫し、来庁者が展示を見やすい動線にすればよい。
- ・ 出展予定の事業者は環境マインドが日本の中でも高い団体である。この縁を活用して、今後イベントを一緒に行えるとよい。

#### 4 大学生によるリユース食器導入計画作戦会議の動きについて

##### 事務局からの説明

一昨年に区内の大学生を中心として発足した作戦会議のメンバーが、みなと区民まつりの出展者向けにリユース食器をPRした。今年のみなと区民まつりでは、希望する出展者にリユース食器を貸し出す。

#### 主な発言

- ・ 初めての取り組みということで費用を区で負担することは、団体にとってはインセンティブとなる。
- ・ 次世代が手伝ってくれると夢が広がる。
- ・ 芝商業高校の学生にも応援してもらうのはどうか。
- ・ 長く区民まつりを行っているが、今回初めてリユース食器に取り組む。団体は高齢化しているので、サポートが具体的に見えることで企画に乗りやすい。
- ・ 出展団体に意義を考えてもらわなければならない。本来有料のごみを区のサポートにより負担が少なくなるので、よいきっかけである。
- ・ リユース食器によって削減されるごみの量を、大まかでもよいので定量化するとよい。
- ・ リユース食器を使うことによって生ごみが減るわけではない。

## 5 みなと区民まつりブース出展について

### 事務局からの説明

平成23年度みなと区民まつりの会場で、テント2張を使用し、港区3R推進行動会議の活動を紹介できる企画を検討している。3Rに関するパネルの展示以外にも、来場者の方が参加できる企画内容を検討している。

### 主な意見

- ・ 3R推進行動会議の出展エリアはリユース食器を活用している芝公園エリアではないが、リユース食器を使っていることをアピールするとよい。環境によいことはみんなが応援してくれる。
- ・ 段ボールコンポストを広める企画はよいと思うが、テント2張では難しいか。
- ・ 人通りは多いが、体験コーナーは難しいかもしれない。リーブラ等で実施している入れ歯やスプーン、フォークの回収をアピールするとよい。
- ・ 昨年度好評だったアルファ米によるリユース食器体験を行ってもよい。ここで体験してもらい、実践しているのは芝公園エリアと紹介する。
- ・ 去年はアルファ米によるリユース食器体験の他に廃食用油回収を行った。
- ・ アルファ米は配り終わったらブースが終わったような雰囲気になっていたので、午前と午後で分けて実施した方がよい。
- ・ 乾電池を回収し、乾電池を回収している施設やリサイクルルートを紹介したチラシを配ればよい。大震災で多くの乾電池が使われたので、テーマとしてはよい。
- ・ 小型家電のリサイクルを国が実施しようと検討しているので、乾電池とセットで試験的に回収すればよいのではないか。
- ・ 小型家電の回収を行うのであれば、どのような呼びかけを行えばよいかの情報がもらえるはずなので、環境省協力で実施することも考えられる。
- ・ 3Rクイズはこれからつくらないのであれば、環境省でつくった3R啓発のためのグッズの中にクイズがあるので使える。
- ・ みなと区民まつりは環境への意識が高い人ばかりが来るわけではないので、3Rに関する基本的なことを伝える機会としたい。
- ・ クイズに参加してもらった人に啓発品を渡すのはどうか。
- ・ 物がもらいたい人のためだけの単なるグッズ配布にならないように、工夫したほうがよい。

## 6 事業者向けセミナーについて

### 事務局からの説明

#### 事業者（ホテル業）・区民向けセミナー 企画案（第1回）

食の3Rの大切さを伝えるため、区内で積極的にごみの減量やリサイクルに取り組んで

いるホテルを見学する。見学会終了後、自らが実践しているごみ減量の工夫について参加者同士の情報交換の場を設ける。

#### 主な意見

- ・ ホテル関連事業者が15名も参加するか。ホテル関連事業者・区民合わせて30名とすればよい。
- ・ ホテルだけに限らず飲食事業者とすればよい。
- ・ 事業者と消費者が互いに言い合えた方がよい。

#### 事務局からの説明

#### 事業者セミナー 企画案（第2回）

食品関連事業者や食品関連事業者が入るテナントビルの管理事業者が、生ごみのエネルギー化を行う施設を見学することにより、排出している生ごみの有効活用について考え、生ごみリサイクルをはじめ、「食の3R」に取り組むきっかけとする。また、すでに生ごみのエネルギー化に取り組んでいる事業者に、具体的に何に取り組めば良いかのヒントを提供してもらうことにより、生ごみリサイクルの取り組み方を学ぶ。

#### 主な意見

- ・ 食品リサイクル法に報告義務のない中小規模事業者も関心はある。
- ・ リサイクル率は食品工場では高いが、飲食店では異物の混入の可能性が高くなるのでリサイクルが難しくなりリサイクル率は低くなる。その際、店舗が消費者に呼びかけることでリサイクルに貢献できることもある。例えば韓国で食品リサイクル法が制定された際に、リサイクルされた飼料に楊枝等が混入し、家畜に影響が出る事例が頻発した。そのことをPRすれば消費者も行動を改められる。最初は個々の取り組みだが、広がればシステムとなるので、みんなで学びあうことが大切である。
- ・ 仕組みとしての悩みは、リサイクルとして出すよりもごみとして出す方が安いことである。多くの団体が連携することによりコストを安くし、せめて同じ料金にしなければ広がらない。
- ・ 小さな飲食店にもぜひ参加してもらいたい。
- ・ 事業者向けとなっているが、市民の食品リサイクルにもつながると思う。報告義務が課されていない事業者に特に見てもらいたい。

#### その他

#### 決定事項

- ・ 10月2日の芝浦運河まつりにて、リユース食器を貸し出す。
- ・ 古着回収について、10月3日（月）に芝浦港南地区で、10月18日に赤坂地区で

開催予定である。

- ・ 次回の3R推進行動会議は11月に開催予定である。